

<p>【技術の名称】 ODIシリーズ 自在ジョイント継手 -A級継手性能を有する機械式鉄筋継手工法- (改定1)</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第21-18号 改1 性能証明発効日：2022年11月4日</p> <p>【取得者】 大谷製鉄株式会社</p>
--	--

【技術の概要】

本技術は、鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造、およびそれらのプレキャストコンクリート部材のねじ筋鉄筋をカプラーで嵌合接合する機械式継手である。カプラーと2条ねじ部を有するナットを回転嵌合し、ねじ筋鉄筋の嵌合部ねじ山相互間の隙間にはグラウトを充填することで一体化された継手を形成する。

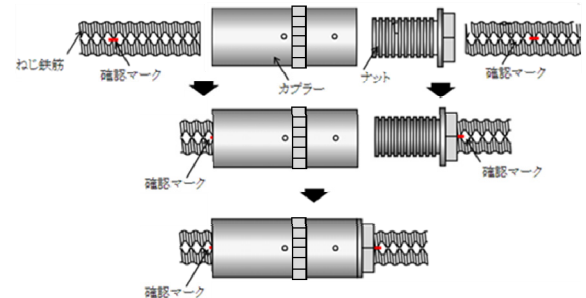


図1 自在ジョイント概要

【改定の内容】

- 新規：GBRC 性能証明 第21-18号 (2022年2月17日)
 改定1：GBRC 性能証明 第21-18号 改1 (2022年11月4日)
- ・ 技術名称の変更
 - ・ グラウト材に無機グラウトを追加
 - ・ 無機グラウトに限り、異鋼種継手および異径継手を追加
 - ・ 自在ジョイント継手のナット位置を変更

【技術開発の趣旨】

本技術は、2条ねじを有するナットを用いた嵌合接合とすることで鉄筋のねじ位相のずれの緩和を図るとともに、継手長さを短く、軽量化することで施工性の向上を図っている。また、継手長さが短いためグラウトの注入量が少なく、省資源の取り組みに配慮している。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する「ODI シリーズ自在ジョイント継手 設計指針」、「ODI シリーズ自在ジョイント継手 製造要領書」、「ODI シリーズ自在ジョイント継手 施工要領書」に従って設計・製作・施工された鉄筋継手は、「2020年版 建築物の構造関係技術基準解説書」に規定する鉄筋継手性能判定基準のA級継手の性能を有する。

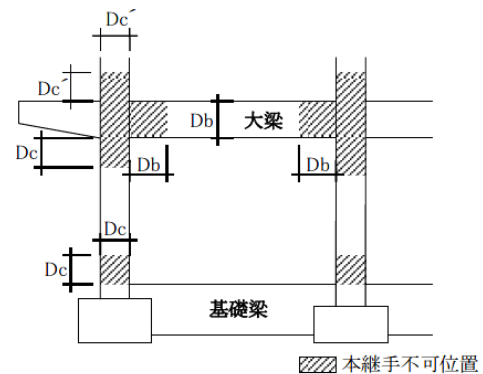


図2 一般的なラーメン形式の柱梁主筋の継手位置

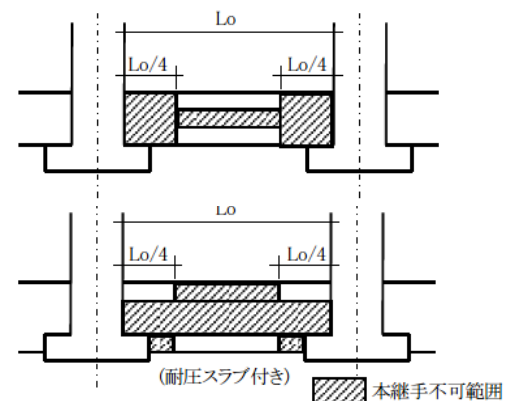


図3 基礎梁筋の継手範囲

【本技術の問合せ先】

大谷製鉄株式会社 担当者：北林 久也
 〒934-8567 富山県射水市奈呉の江8番地の4

E-mail：h.kitabayashi@e-osc.co.jp
 TEL：0766-84-6151 FAX：0766-82-7444